

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-イ	市場特性に対応した誘客活動の展開	施策	② 海外誘客活動の戦略的展開
			施策の小項目名	○海外誘客の推進
主な取組	那覇港人流機能強化関連事業		実施計画記載頁	189
対応する主な課題	②海外からの誘客については、アジアからの観光客が増加傾向にあるが、海外における沖縄の認知度は依然として低い状況にあることから、観光マーケティング力を強化し、アジア諸国や欧米を中心に誘客ターゲットを絞り込み、効果的で戦略的なプロモーション活動を展開することが重要である。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容		年度別計画				
那覇港利用者の安全性・快適性・利便性の確保に向け、緑地や利便性向上施設等の整備、クルーズ受入促進事業などを、促進する。		H29	H30	R元(H31)	R2(H32)	R3(H33)
実施主体	那覇港管理組合					
担当部課【連絡先】	土木建築部港湾課 【098-866-2665】					
みなとまちづくり活動支援、ポートセールス事業						

2 取組の状況(Do)

(1)取組の進捗状況 (単位:千円)

予算事業名 那覇港人流機能強化関連事業							R元(H31)年度		平成30年度活動内容と令和元年度(平成31年度)の活動計画	
主な財源	実施方法	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算見込額	当初予算額	主な財源		
一括交付金(ソフト)	負担	3,300	1,905	933	2,595	3,067	3,300	一括交付金(ソフト)	○H30年度: 那覇港において、クルーズ船寄港時におもてなし演舞等を実施した。(歓送迎セレモニー48回)	
									○R元(H31)年度: 那覇港において、クルーズ船寄港時におもてなし演舞等を実施する。(歓送迎セレモニー53回)	
予算事業名 —							R元(H31)年度		平成30年度活動内容と令和元年度(平成31年度)の活動計画	
主な財源	実施方法	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算見込額	当初予算額	主な財源		
		—	—	—	—	—	—		○H30年度: —	
									○R元(H31)年度: —	

活動指標名	みなとまちづくり活動支援、ポートセールス事業				H30年度			H30年度決算見込額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	おもてなし事業等の実施				おもてなし事業等の実施	—	100.0%	3,067	順調	那覇港において、クルーズ船寄港時におもてなし演舞等を実施した。  進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果 沖縄らしい特色のあるおもてなし演舞等を実施し、クルーズ船乗客や乗務員へ那覇港の沖縄らしさを印象づけ、満足度を向上させることができ、順調に進捗した。
活動指標名	—				H30年度					
実績値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	—	—	—	—				
活動指標名	—				H30年度					
実績値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	—	—	—	—				
(2)これまでの改善案の反映状況										
平成30年度の取組改善案						反映状況				
①クルーズ船の増加や、旅行者の訪問地の多様化を踏まえ、関係自治体等の協議会への参加を促進するなど、引き続き体制の強化を図る。						①那覇港の近隣自治体に対し、協議会への参加を呼びかけたが、新たな参加は得られなかった。クルーズ船乗客の目的地として、那覇市が中心的な役割を担っていることから、近隣自治体の積極的な参画が得られていない。				

**3 取組の検証(Check)**

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

・今後も那覇港における旅客者数の増加が見込まれるため、観光地としての快適な周辺環境の整備の重要性がましている。  
 ・クルーズ船旅行者への観光案内や通訳ボランティアの派遣、歓送迎演舞等のおもてなし事業を行っている「那覇クルーズ促進連絡協議会」の活動は、那覇港管理組合と沖縄県、那覇市が中心となり、関係する民間団体等の協力を得ながら実施していく必要がある。

○外部環境の変化

—

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・クルーズ船寄港回数の増加にともなう、全てのクルーズ船を対象とした歓送迎演舞の実施は困難となっている。  
 ・しかし、今後も増加するクルーズ船の満足度向上にむけて、歓送迎演舞を引き続き実施し、観光案内所を併せて運営するなど受け入れ体制を維持、強化する必要がある。  
 ・また、第2クルーズバースの整備が開始されており、今後のクルーズ船受入れにおいては、那覇市に加えて、近隣自治体、民間団体の参画が必要であり、引き続き新たな枠組みを構築する必要がある。



**4 取組の改善案(Action)**

・クルーズ船の増加や、旅行者の訪問地の多様化を踏まえ、関係自治体等の協議会への参加を促進するなど、引き続き体制の強化を図る。  
 ・第2クルーズバースの整備が進捗しており、那覇市に加えて、その他の地域の近隣自治体、民間団体の参画を引き続き推進するとともに、各機関の役割分担など新たな枠組みの構築を図る。